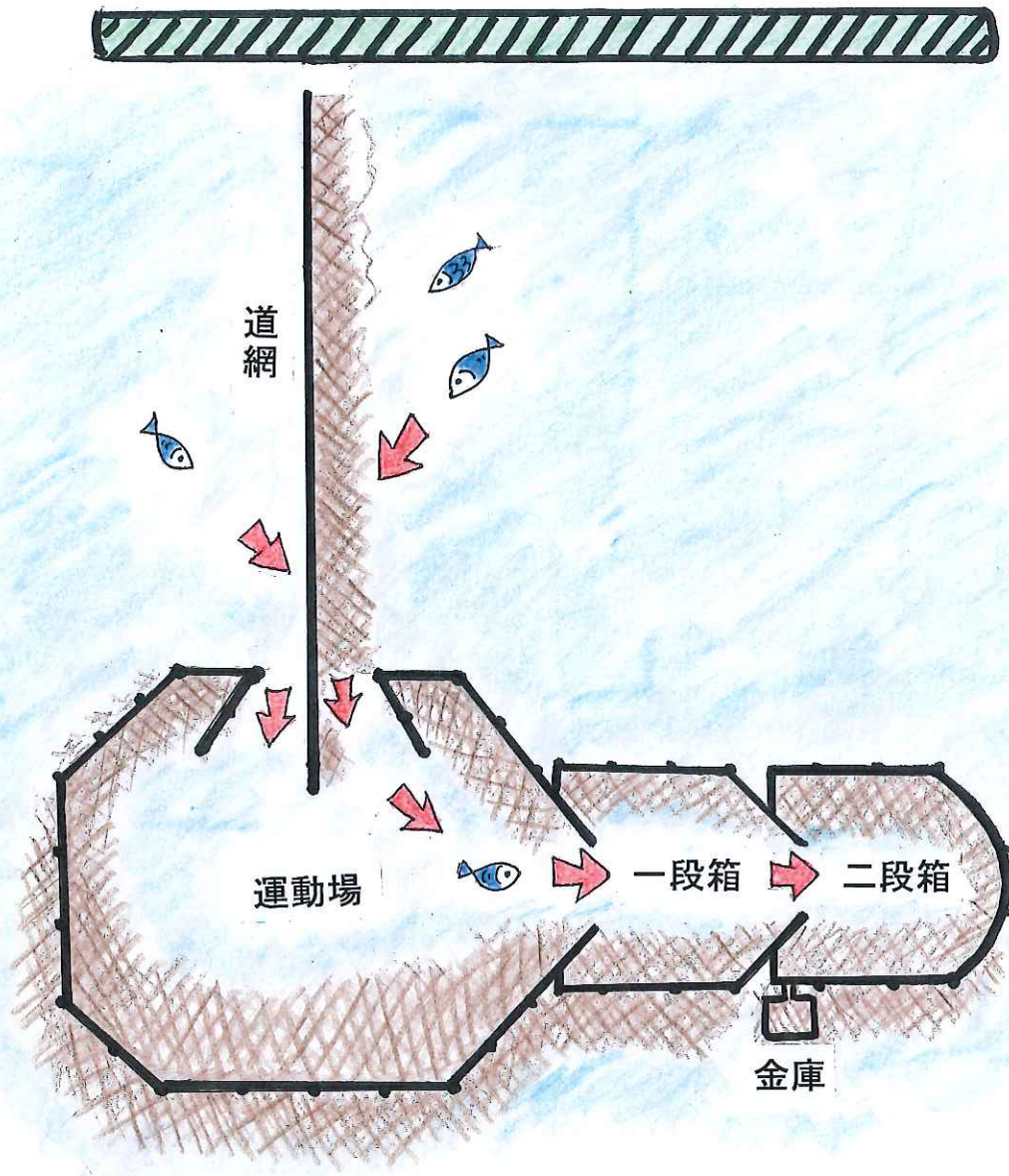


海岸



定置網とは、定置網漁に用いる固定式漁具の一種です。

定置網は、大きく分けると道網、運動場、一段箱、二段箱の4つの部分から構成されています。

天草諸島では、盛んに営まれている漁法です。

天草町では、大小9つの定置網が敷かれています。今回見学されている定置網は、別名大敷網と言われ、熊本県下最大の規模で水深40m以上、岸から伸びている道網の長さが600mあります。

四季折々の魚が季節ごとに、春はタイ、ブリ、夏はアジ、シイラ、秋はサワラ、サバ、冬はヒラメ等が水揚げされます。

270kg以上のシロカワカジキ、30kg以上のバショウカジキの群れが入ったこともあります。8kgクラスのブリの1万本、ソウダガツオの10トンの大漁もありました。トビウオの飛ぶ姿も見られるかもしれません。

今回は、どんな魚が入っているかお楽しみください。

また、魚本来が放つ鮮やかな色も併せてお楽しみください。